



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本冶金工業株式会社

コード番号 5480 URL <http://www.nyk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉森 一太

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 久保田 尚志

TEL 03-3273-3613

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	69,203	0.7	2,818	482.9	2,057	—	1,691	—
23年3月期第2四半期	68,727	56.2	483	—	△224	—	△1,321	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,445百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,761百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.12	—
23年3月期第2四半期	△10.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	150,198	38,174	25.4
23年3月期	146,330	32,629	22.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 38,144百万円 23年3月期 32,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

(参考) 配当予想の修正については、本日(平成23年10月31日)公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	△0.6	4,700	354.4	3,000	—	2,600	—	18.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	154,973,338 株	23年3月期	123,973,338 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	276,441 株	23年3月期	274,480 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	128,864,613 株	23年3月期2Q	123,702,442 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定については、決算短信(添付資料)2ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(2)

平成24年3月31日(期末日)を基準日とする配当につきましては現時点では未定となっております。今後の業績動向を見極めながら、開示が可能となった時点で速やかにお知らせ致します。

(3)

平成24年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、当第2四半期連結会計期間に行った公募増資及び第三者割当増資による新株式発行(平成23年9月13日27,000,000株、平成23年9月27日4,000,000株)を反映して算出しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるステンレス特殊鋼業界は、海外市場では中国、東南アジアを中心に高水準の経済成長が持続し、需要面ではこうした景気動向を反映した動きとなりました。一方国内市場においては、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱からは一応の回復は果たしたものの、本格的な震災復興の動きには至っていないことや東京・東北両電力管内における夏場の電力使用制限、さらには急激に進む円高などにより消費マインドが冷え込んだままであることなどから、期を通じて販売数量は低調に推移する流れとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の販売数量は、一般材では前年同期（平成23年3月期第2四半期連結累計期間）比21.6%減と大きく落ち込む一方、高機能材分野では引き続きエネルギー分野などの海外需要が堅調だったこともあり、前年同期比10.2%の増加となりました。

他方、価格面では、LME ニッケル相場が8月初旬に一時\$11/lb台をつけたものの、米国や欧州の金融不安などの影響から投機資金が流出するなどしたため、その後続落する流れとなり期の後半では\$8/lb台にまで低下する動きとなりました。これにより輸出市場を中心にステンレス特殊鋼製品の先安感を嫌気して、需給バランスが悪化する中価格面でも弱含みの展開となりました。こうした環境の変化に加え、1ドル70円台に突入した円高の影響もあって、輸出製品の収益減少を余儀なくされる展開となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は69,203百万円と前年同期とほぼ同水準を確保するとともに、原料相場下落による棚卸資産の期末評価損の影響はあるものの、営業利益は2,818百万円（前年同期比2,334百万円増）、経常利益は2,057百万円（前年同期比2,282百万円増）を確保することができました。また四半期純利益につきましては、株式相場下落による投資有価証券評価損（△216百万円）を計上したことなどにより1,691百万円（前年同期比3,012百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は150,198百万円となり、前連結会計年度末比3,869百万円の増加となりました。これは流動資産の増加であり、主として生産活動の活発化による商品及び製品、仕掛品等の棚卸資産の増加（3,413百万円）によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は112,025百万円となり、前連結会計年度末比1,676百万円の減少となりました。これは主として原料相場下落による支払手形及び買掛金の減少（2,456百万円）によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は38,174百万円となり、前連結会計年度末比5,544百万円増加しております。これは主として公募増資及び第三者割当増資により資本金と資本準備金が増加（4,101百万円）したことによるものであります。これにより自己資本比率は25.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のステンレス特殊鋼業界は、欧米諸国における金融不安や中国の金融引き締め策の影響に加え、国内の震災復興の遅れや急激に進む円高の影響など、内外ともに需要動向の先行きに懸念要因が山積しておりますが、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成23年7月28日に公表いたしました業績予想は変更いたしません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,938	8,756
受取手形及び売掛金	23,651	23,031
商品及び製品	7,129	8,638
仕掛品	14,314	17,596
原材料及び貯蔵品	10,418	9,040
その他	1,418	1,028
貸倒引当金	△663	△646
流動資産合計	63,205	67,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,369	13,972
機械装置及び運搬具（純額）	19,811	20,626
土地	39,402	39,389
その他（純額）	1,851	1,781
有形固定資産合計	75,433	75,767
無形固定資産	1,481	1,325
投資その他の資産		
投資有価証券	5,045	4,533
その他	1,250	1,207
貸倒引当金	△84	△77
投資その他の資産合計	6,211	5,663
固定資産合計	83,125	82,756
資産合計	146,330	150,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,531	19,075
短期借入金	30,891	32,877
1年内返済予定の長期借入金	12,374	14,139
賞与引当金	828	812
その他	4,219	5,444
流動負債合計	69,842	72,347
固定負債		
長期借入金	20,713	17,163
退職給付引当金	9,371	9,267
環境対策引当金	121	107
その他	13,652	13,140
固定負債合計	43,858	39,678
負債合計	113,700	112,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,251	24,301
資本剰余金	7,492	9,542
利益剰余金	871	2,562
自己株式	△131	△132
株主資本合計	30,482	36,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541	346
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,609	1,609
為替換算調整勘定	△33	△84
その他の包括利益累計額合計	2,117	1,871
少数株主持分	30	29
純資産合計	32,629	38,174
負債純資産合計	146,330	150,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	68,727	69,203
売上原価	62,809	61,215
売上総利益	5,917	7,988
販売費及び一般管理費	5,434	5,170
営業利益	483	2,818
営業外収益		
受取利息	7	1
受取配当金	80	84
その他	98	94
営業外収益合計	186	178
営業外費用		
支払利息	631	569
為替差損	77	47
その他	186	322
営業外費用合計	894	939
経常利益又は経常損失(△)	△224	2,057
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	36	—
その他	7	0
特別利益合計	43	7
特別損失		
投資有価証券評価損	13	216
その他	29	87
特別損失合計	43	303
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△224	1,761
法人税等	1,051	69
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,275	1,692
少数株主利益	46	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,321	1,691

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,275	1,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△485	△196
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△1	△51
その他の包括利益合計	△486	△248
四半期包括利益	△1,761	1,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,807	1,445
少数株主に係る四半期包括利益	46	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△224	1,761
減価償却費	2,860	2,467
退職給付引当金の増減額(△は減少)	47	△104
受取利息及び受取配当金	△88	△84
支払利息	631	569
投資有価証券評価損益(△は益)	13	216
売上債権の増減額(△は増加)	△3,204	620
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,721	△3,413
仕入債務の増減額(△は減少)	1,054	△2,456
その他	1,292	78
小計	△2,340	△347
利息及び配当金の受取額	88	84
利息の支払額	△637	△569
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△353	111
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,242	△720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,261	△1,438
その他	224	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,037	△1,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,572	2,026
長期借入れによる収入	5,790	1,908
長期借入金の返済による支出	△3,194	△3,692
株式の発行による収入	—	4,082
少数株主への配当金の支払額	△11	△0
その他	△274	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,883	4,010
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△59
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△397	1,993
現金及び現金同等物の期首残高	6,870	6,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,473	8,717

(4) 継続企業の前提に関する注記

当該事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成23年9月13日を払込期日とする公募による新株式発行により、発行済株式総数が27,000,000株、資本金が1,786百万円、資本準備金が1,786百万円増加しております。

また、平成23年9月27日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、発行済株式総数が4,000,000株、資本金が265百万円、資本準備金が265百万円増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間において、資本金が2,050百万円、資本準備金が2,050百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金は24,301百万円、資本準備金は9,542百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

当社連結子会社のナスクリエート株式会社（以下、「ナスクリエート」といいます。）及びナスエンジニアリング株式会社（以下、「ナスエンジニアリング」といいます。また、ナスクリエートとナスエンジニアリングを総称して「両社」といいます。）は、平成23年10月1日にナスクリエートの当社川崎製造所内における作業受託事業、並びにナスエンジニアリングの同製造所内における作業受託事業等をそれぞれ分割し、新設した「ナステック株式会社」へ承継いたしました。

(a) 会社分割の目的

両社の事業のうち、ナスクリエートの当社川崎製造所内での梱包作業受託事業と、ナスエンジニアリングの副産物のリサイクル事業及び精整作業受託事業をそれぞれ分割し統合することにより一体的運営を図り、以ってグループとしてより効率的な企業体質の構築を目指すことといたしました。

(b) 分割承継する事業内容

当社川崎製造所内におけるナスクリエートの梱包作業受託事業、及び同製造所内におけるナスエンジニアリングの副産物リサイクル事業、精整作業受託事業

(c) 会社分割の形態

新設分割による分割型分割

(d) 承継会社の概要

商号 ナステック株式会社
資産 794百万円
純資産 411百万円